

備前市事務事業評価表

事業の概要		コード	02-02-07-07
事務事業名	日生病院運営事業	根拠法令・要綱等	医療法 備前市国民健康保険病院条例
事業開始年度	平成17年度～	担当課(室)	市立日生病院 事務部
総合計画	大項目 基本目標 健康でやさしさあふれるまちづくり 中項目 基本施策 健やかで生き生きしたまちづくり 小項目 施策 病院事業	職・氏名	庶務係長 阿正千丈
		電話	(0869) 72-1111

事業の実施	
対象(誰・何に対して)	出資者である市民
目的(何のために)	市立日生病院基本理念に基づき、安心・安全で地域に開かれた医療の提供と計画的・効率的な病院経営の推進等を図るため
行政活動(どのような方法で)	院内各種委員会等において患者サービスの向上及び医療事故防止策等を検討・協議する。また、毎月の病院運営状況を統計・分析し、状況に応じて経営健全化計画(10ヵ年計画)の見直しを図る。
事業の意図する成果(どのような状態にしたいのか)	患者と病院が相互に信頼し、健康増進と疾病の予防及び地域に開かれた温かく、親しみのあふれる医療の提供ができる病院とする。また、経営改革と経営基盤の強化に取り組み、経営の健全化及び事業の活性化に努めながら安定した病院経営とする。

事業の実績							
活動実績	実施項目		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	幹部会議		回	12	12	12	
	医療安全管理委員会		回	12	12	12	
	院内感染対策委員会		回	12	12	12	
	サービス向上委員会		回	12	12	18	
	栄養給食委員会		回	12	12	12	
	事業費	直接事業費	千円	27,962	36,974	38,567	
		人件費	千円	38,235	48,105	46,857	
		事業費計		66,197	85,079	85,424	
	財源	国県支出金	千円	284	284	284	
市債		千円	65,913	84,795	85,140		
必要人員		人	4.15	5.35	5.20		
結果指標	結果指標名		単位	平成17年度実績	平成18年度実績	平成19年度実績	
	幹部会議		説明	会議出席者延数			
	結果指標量	人		57	74	80	
	対前年比	%		-	129.8%	108.1%	
	活動コスト	円		2,108,000	2,416,000	2,433,000	
	単位当たりコスト	円		36,982	32,649	30,413	
結果指標	各種委員会		説明	各種委員会出席者延数			
	結果指標量	人		172	196	205	
	対前年比	%		-	114.0%	104.6%	
	活動コスト	円		4,397,000	5,039,000	5,075,000	
	単位当たりコスト	円		25,564	25,709	24,756	

事業の成果			
成果指標名	決算における純利益	式又は説明	収益的収入 - 収益的支出
			17年度 18年度 19年度
成果指標量	5,319,635 円	30,063,674 円	38,776 円
対前年比		565.15%	0.13%
到達目標値	10,000,000円	到達目標年度	毎年

事業の目的、対象、内容を考えて目的の妥当性の評価を行って下さい。

事業費や単位当たりコストに留意しながら効率性の評価を行って下さい。

事業の目的やその数値目標である成果指標に留意しながら有効性の評価を行って下さい。

事務事業の評価		(平成19年度事業)	
目的	<input checked="" type="checkbox"/> 開法令等で目的が定められており妥当である(法律・政省令)	妥当性評価<A-E>	A
	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも目的は妥当である <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的は、ほぼ達成されている <input type="checkbox"/> 事業開始当初の目的から変化している	課題認識	
対象	<input type="checkbox"/> 対象を見直す必要がある	地域住民の医療ニーズ、地域における医療供給体制等を的確に把握し、地域における当病棟の役割を明確にする。また、診療科目についても見直しを検討し、必要に応じて市立3病棟の再編も視野にいれる必要がある。	
	<input type="checkbox"/> 事業の目的を達成するためには、現在の行政活動以外に方法はない		
行政活動	<input checked="" type="checkbox"/> 現在の市を取り巻く環境からも事業の意図する成果を見直す必要はない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 市民、団体などから要望・要請の強い事業である		
事業の意図する成果	<input checked="" type="checkbox"/> 本市が関与しなければならない事業である		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は大きい <input type="checkbox"/> 事業を取り止めた場合の市民への影響は克服できる範囲内である	効率性評価<A-E>	B
市民ニーズ	<input type="checkbox"/> コスト削減の努力をしており、低減余地は大きい	課題認識	
	<input checked="" type="checkbox"/> コスト削減の努力はしているが、低減余地は小さい <input type="checkbox"/> サービスを低下させずにコストを削減することは困難 <input type="checkbox"/> 受益者負担額を見直す余地がある	他病院の情報を広く収集し、薬品・診療材料等の材料費の削減を図りながら市立3病棟での共同購入についても引き続き検討する。また、医療サービスの向上、医師の確保、経営健全化・効率化、経営基盤の強化の観点から医療機関相互の連携、機能分担を推進し、医療提供体制の改善を図る。	
市の関与	<input type="checkbox"/> サービスを維持するためこれ以外、他に手段が見当たらない		
	<input checked="" type="checkbox"/> 最適な手段を求めて職場内で改善に努めている <input type="checkbox"/> 現在の手段は過剰なサービスのため、改善の余地がある		
コスト	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関して事務改善等作業効率の向上に努めている		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業に関するOJT(職場研修)は行われている <input checked="" type="checkbox"/> 事業実施について、職員の意見・要望が反映されやすい	有効性評価<A-E>	B
効率性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している	課題認識	
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある	一般会計からの繰入金の一部削減されたが、入院・外来患者数の増加と各種経費節減に努め、るなど収益増を図ることができたことにより、決算における純利益を確保できた。	
職	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
目的達成度	<input checked="" type="checkbox"/> 成果指標の目標値は目標年度に達成できそうである <input type="checkbox"/> 成果指標は前年度より向上している		
	<input type="checkbox"/> 成果は向上しており今後も向上する見込みである <input checked="" type="checkbox"/> 今後、成果指標は向上する余地がある		
成果向上の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 事業について積極的に情報提供している		
	<input checked="" type="checkbox"/> 事業実施等で積極的に市民意見を反映している <input checked="" type="checkbox"/> 事業にはNPO、ボランティア団体等が参画している <input type="checkbox"/> 事業のプラン作りから市民参加を得る手段をとっている		
有効性の評価	<input checked="" type="checkbox"/> 市民参画度		
	<input type="checkbox"/> 市民参画度		

平成20年度の状況		説明
<input type="checkbox"/> 重点化している	<input type="checkbox"/> 休止している	
<input type="checkbox"/> 前年度と同様に継続している	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合している	
<input checked="" type="checkbox"/> 見直し継続している	<input type="checkbox"/> 平成19年度で廃止・完了	
<input type="checkbox"/> 事業を縮小している		
目標値	結果指標量	結果指標量
	成果指標量	50,000,000円

総合評価		評価区分<A-E>	B
各種委員会において医療事故防止、院内感染予防、患者サービスの向上、病院運営の分析と対応等協議・検討しながら事業を実施した結果、入院患者延数は前年度比109.7%、外来患者延数110.3%と増加した。また、成果指標量は18年度と比較し大幅な減となったが、成果指標である決算における純利益は僅かであるが確保することができた。しかしながら、今後は患者数の大幅増を見込むことは困難であり、安定した経営を維持するためには事業内容の見直しと経費節減を一層努めるとともに薬品・診療材料の共同購入の検討等、経営健全化を図る必要がある。			
各種委員会において医療事故防止、院内感染予防、患者サービスの向上、病院運営の分析と対応等協議・検討しながら事業を実施した結果、入院患者延数は前年度比109.7%、外来患者延数110.3%と増加した。また、成果指標量は18年度と比較し大幅な減となったが、成果指標である決算における純利益は僅かであるが確保することができた。しかしながら、今後は患者数の大幅増を見込むことは困難であり、安定した経営を維持するためには事業内容の見直しと経費節減を一層努めるとともに薬品・診療材料の共同購入の検討等、経営健全化を図る必要がある。			

平成21年度以降の方向性	
<input type="checkbox"/> さらに重点化する(行政資源を集中的に投入する)	<input type="checkbox"/> 事業の縮小を検討する
<input type="checkbox"/> 現状のまま継続する	<input type="checkbox"/> 休止・廃止を検討する
<input checked="" type="checkbox"/> 見直しのうえで継続する	<input type="checkbox"/> 他の事業と統合を検討する
<input type="checkbox"/> 平成20年度で廃止・完了	

平成21年度以降の改善事項			
評価の視点	改善内容	改善時期	改善により期待される効果
妥当性	公立病院改革プランに基づく事業の見直し	毎年	経営基盤の安定と長期的事業運営の推進
効率性	医療スタッフの充実と医療機器整備	毎年	医療サービスの向上と安全・安心な医療提供の充実
効率性	各種経費の分析・検討によるコストの効率化を推進	毎年	収益増及び経費節減による純利益の確保